

自動車開発におけるソフトウェア化 — MBD・シミュレーションを活用した開発プロセスを学ぶ —

見て 聞いて 考える

自動車開発では、MBD（モデルベース開発）やシミュレーションを活用し、実機・試作品の製作前に車両や部品の挙動・性能を検証する「開発プロセスのソフトウェア化」が進んでいます。これに伴い、開発期間の短縮や試作回数の削減、部品メーカーによる性能データ・解析モデルを用いた提案への対応が求められつつあります。

本研修では、こうした変化の全体像と基礎技術を学び、Simulinkの操作体験とグループワークを通じて、自社への影響、課題及び今後の対応ステップを具体化します。



日時 令和8年 10/15(木) 9:00-16:30
10/16(金) 9:00-16:00

会場 京都先端科学大学京都亀岡キャンパス内
オープンイノベーションセンター・亀岡
〒621-8555 京都府亀岡市曾我部町南条大谷1-1

KUASへの交通アクセス▶
<https://www.kuas.ac.jp/campus/access/>



OICK HP▶
<https://oick.kuas.ac.jp/>



対象

自動車・部品開発におけるMBD、シミュレーション活用及び開発プロセスのデジタル化に関心のある中堅・中小企業

※金属加工、機械部品、動力・駆動系部品、電装部品、組み込みソフトウェア等の企業を広く対象とし、ソフトウェア開発経験は問いません。

定員

20名 ※1企業1名まで
※応募が多数の場合は早期に募集を終了する場合があります。

参加費

無料 ※会場までの交通費は各自負担

スケジュール(2日間)

DAY1 10月15日(木) 9:00~16:30

9:00~ 9:15 **ガイダンス** 開講の挨拶・研修の概要説明

STEP1「見て」 STEP2「聞いて」

9:15~10:15 **講義** 「車づくりのソフトウェア化の基本事項」

10:40~11:40 **講義** 「自動車・部品開発のデジタル化を支える基礎技術」

MBD（モデルベース開発）、フルビークルHILS（車両制御の模擬・検証環境）、Simulink（モデル作成・シミュレーションソフトウェア）、AUTOSAR（車載ソフトウェアの標準仕様）、機能安全、サイバーセキュリティ等

講師：ニデックモビリティ株式会社 事業本部
開発統括部 開発第2部 部長 田尻 朋範 氏

12:40~15:10 **実習** Simulinkによるモデル作成・シミュレーション体験

車両や部品の挙動をモデル化し、シミュレーションするためのソフトウェア「Simulink」の基本操作を学び、簡単なモデルを用いた検証を体験します。

講師：京都先端科学大学工学部 准教授 佐藤 啓宏 氏

STEP3「考える」

15:20~16:30 **グループワーク**

2日目のワークに向けて、本テーマに関する自社の課題を整理

16:30~ **名刺交換**

DAY2 10月16日(金) 9:00~16:00

STEP3「考える」

9:00~15:00 **グループワーク**

自社課題と対応ステップの具体化

講師とのディスカッション

15:00~16:00 **発表**

自社におけるソフトウェア化対応アクションシートを全体発表

お申込み

下記URL、または右記QRコードよりお申込みください



<https://keijimikata.meti.go.jp/form/view.php?id=32557>

申込締め切り

9月30日(水) 17:00

お問合せ

公益財団法人京都高度技術研究所(ASTEM)
ミカタプロジェクト事務局

E-mail : support-supplier@keijimikata.meti.go.jp

TEL : 075-315-6725 FAX : 075-315-6634

9:00~17:00 (土日祝日を除く)

KUAS 京都先端科学大学
KYOTO UNIVERSITY OF ADVANCED SCIENCE

OICK
Open Innovation Center Kameoka

リサイクル適正 (A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。